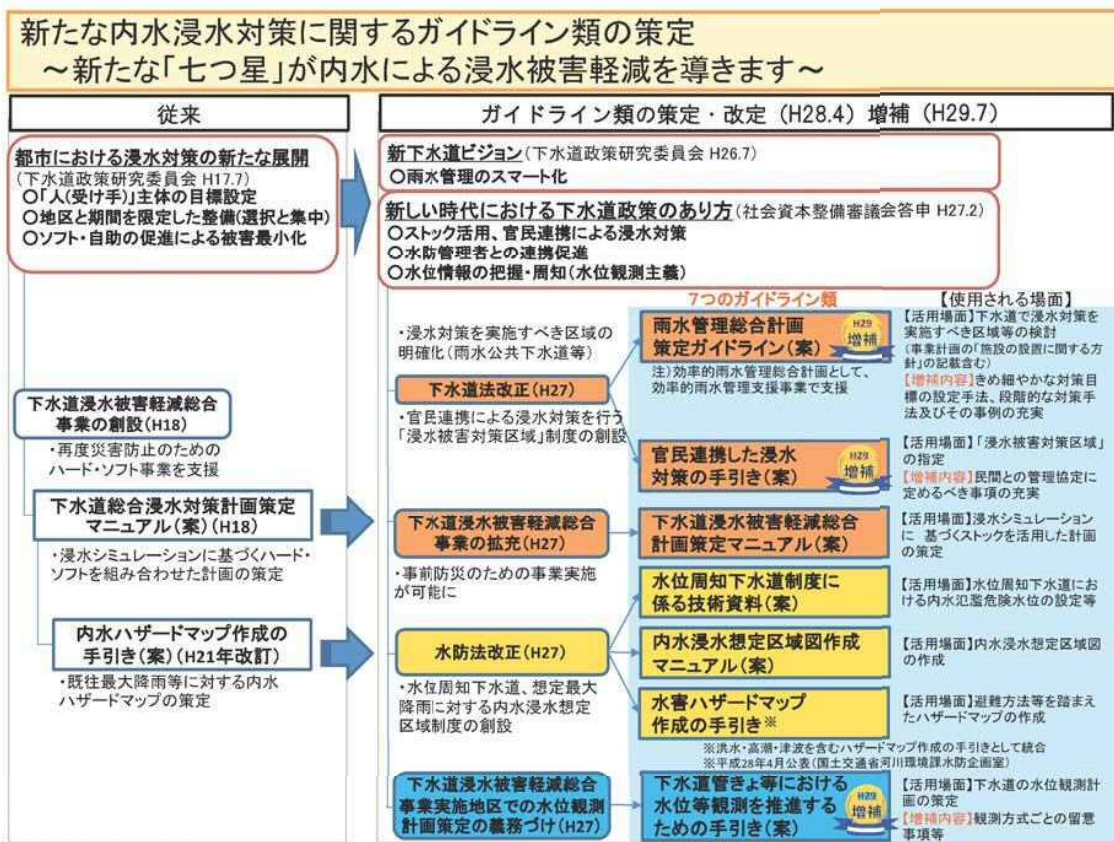


II-2 雨水（浸水）対策計画

(1) 雨水管理総合計画の策定の推進について

近年の雨の降り方の局地化・集中化・激甚化や都市化の進展等に伴い、多発する浸水被害への対応を図るため、平成27年11月19日に下水道法を含む「水防法等の一部を改正する法律」が施行され、ソフト・ハードの両面からの水害対策を強化する制度改正が行われた。

地方公共団体においては、「雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）」（平成28年4月国土交通省）を参考に、浸水シミュレーション等による浸水リスク評価を踏まえ、下水道による浸水対策を実施すべき区域や既存施設を最大限活用した対策等を定めた「雨水管理総合計画」を策定し、効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図ることとしている。



(2) 浸水被害状況について

県内における近年のゲリラ豪雨等による浸水被害について、代表的な事例を以下に示す。



久留米市御井地区（H30.7）



小郡市大崎地区（R1.7）



大牟田市三川地区（R2.7）

(3) 浸水対策の整備状況について

本県の浸水対策に対する整備状況を以下に示す。

1) 公共下水道(雨水)

雨水整備進捗状況表

令和元年度末

自治体名	計 画		実 績 整備面積	整備率 (整備面積/全体計画) %
	全体計画	事業計画		
	h a	h a	h a	
北九州市	23,637	18,775	10,076	42.6%
福岡市	17,992	17,223	16,896	93.9%
大牟田市	2,957	1,316	436	14.7%
久留米市	6,460	6,176	5,250	81.3%
直方市	1,786	615	0	0.0%
飯塚市	2,672	1,855	406	15.2%
柳川市	706	454	0	0.0%
八女市	1,753	0	0	0.0%
筑後市	1,334	0	0	0.0%
大川市	1,212	252	20	1.7%
行橋市	1,618	421	343	21.2%
豊前市	615	469	306	49.8%
中間市	1,045	1,042	145	13.9%
小郡市	1,737	1,260	1,260	72.5%
筑紫野市	2,368	1,916	570	24.1%
春日市	1,380	1,380	886	64.2%
大野城市	1,532	1,508.5	1,310	85.5%
宗像市	2,759	2,404	2,127	77.1%
太宰府市	1,468	1,379	862	58.7%
古賀市	1,165	1,165	998	85.7%
福津市	1,273	629	328	25.8%
うきは市	1,066	1,060	0	0.0%
宮若市	665	235	0	0.0%
朝倉市	959	694	234	24.4%
みやま市	0	0	0	0.0%
糸島市	1,142	1,012	422	37.0%
那珂川市	885.8	713.6	653.8	73.8%
宇美町	1,023	839	0	0.0%
篠栗町	536.6	536.6	214.3	39.9%
志免町	869	807	804	92.5%
須恵町	673	540	0	0.0%
新宮町	592	550	434	73.3%
久山町	654	439	0	0.0%
粕屋町	890	816	224	25.2%
芦屋町	538	527	524	97.4%
水巻町	804	732	540	67.2%
岡垣町	968	874	715	73.9%
遠賀町	779	494	0	0.0%
小竹町	285	94.1	4.5	1.6%
鞍手町	813	396	0	0.0%
筑前市	869	860	332	38.2%
大刀洗町	552	539	0	0.0%
広川町	550	0	0	0.0%
新田町	1,084	494	175	16.1%
みやこ町	0	0	0	0.0%
吉富町	225	99	99	44.0%
築上町	0	0	0	0.0%
計	94,891	73,591	47,594	50.2%

2) 都市下水路(参考)

都市下水路 着手状況

令和元年度末

都市計画 区域名	自治体名	計 画				供 用				整備率 %
		排水区域 ha	管渠延長 m	ポンプ場		排水区域 ha	管渠延長 m	ポンプ場		
				箇所	面積 ㎡			箇所	面積 ㎡	
筑豊広域	田川市	879	8,860	-	-	879	8,860	-	-	100.0%
筑後中央広域	八女市	328	4,188	-	-	296	2,933	-	-	90.2%
筑後中央広域	大川市	260	9,315	1	2,123	260	9,315	1	2,123	100.0%
京筑広域	行橋市	248	2,663	1	2,776	248	2,663	1	2,776	100.0%
福岡広域	古賀市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
筑豊広域	宮若市	37	590	1	2,400	37	590	1	2,400	100.0%
朝倉筑前	朝倉市	707	4,500	-	-	471	190	-	-	66.6%
大牟田	みやま市	304	2,104	-	-	304	2,079	-	-	100.0%
筑後中央広域	みやま市	109	3,740	2	5,590	109	3,740	2	5,590	100.0%
二丈	糸島市	31	830	1	750	31	850	-	-	100.0%
福岡広域	篠栗町	201	2,670	-	-	201	2,670	-	-	100.0%
福岡広域	新宮町	51	2,490	-	-	33	1,590	-	-	64.7%
計		3,155	41,950	6	13,639	2,869	35,480	5	12,889	90.9%

(4) 県としての取組

県においても、市町村の浸水対策を促進するために以下の取組を行っている。

① 浸水対策に関する情報提供・助言等

県は市町村に対し、日頃より浸水対策に関する計画・事業実施等への助言、また国や関係機関等からの情報提供を行っているが、別途以下のような場において、関係市町村に対し積極的に助言や情報提供等を行うことで、市町村の浸水対策を促進させるよう努めている。

(主な情報提供の会議等)

- ・全国町村下水道推進協議会福岡県支部総会 (例年4～5月頃開催)
- ・福岡県内市下水道推進協議会総会 (例年6～7月頃開催)
- ・全国町村下水道推進協議会福岡県支部研修会 (例年10～11月頃開催)
- ・福岡県内市下水道推進協議会研修会 (例年12～2月頃開催)
- ・福岡県版下水道場 (とびうめ下水道場) (例年2回開催) (P190, 191)
- ・福岡県雨水対策研究会 (あめんたい) (例年1～2回開催) (P191, 192)

② 浸水対策に関する整備進捗への働きかけ

浸水対策への整備進捗を図るために、浸水に関する指標により目標値設定を行い、県で進捗管理を行うことで、早期の浸水解消ができるよう努めている。関係する指標及び目標値については以下のとおりである。

◇第4次社会資本整備重点計画《対象:全国》

- 1) 下水道による都市浸水対策達成率 (目標値)約56%(H26)→約62%(R2)
- 2) 最大クラスの洪水・内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施した市区町村の割合 (目標値)－%(H26)→100%(R2)

◇九州ブロック社会整備重点計画《対象:九州》

- 1) 下水道の都市浸水対策達成率 (目標値)約61%(H26)→約66%(R2)
- 2) 過去10年に床上浸水被害を受けた家屋のうち未だ浸水のおそれのある家屋数 (目標値)約7.5千戸(H26)→約3.8千戸(R2)
- 3) 最大クラスの洪水・内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上に繋がる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施した市区町村の割合 (目標値)－%(H26)→100%(R2)

◇国土強靱化アクションプラン2016《対象:全国》

- 1) 最大クラスの内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練・情報伝達訓練等)を実施した市区町村の割合 (目標値)－%(H26)→100%(R2)
- 2) 下水道による都市浸水対策達成率 (目標値)約57%(H27)→約62%(R2)

◇福岡県地域強靱化計画《対象:福岡県》

- 1) 下水道の都市浸水対策達成率 (目標値)69.4%(H29)→73.4%(R3)
- 2) 内水ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合 (目標値)72.2%(H29)→100%(R3)